

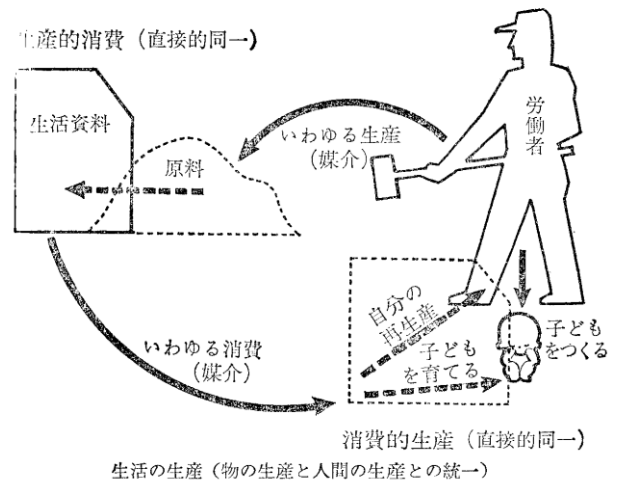
## 産業社会と企業 ②経済と市場経済

### 【テーマ】

- ①そもそも経済とはなにか？ また市場経済とはなにか？
- ②市場経済以外の経済を知る

### 【1】経済とは何か？

#### (1) 生産と消費



#### (2) 経済の定義

「経済学とは、稀少な財やサービスを競合する目的のために選択・配分する仕方を研究する学問」(西村和雄『ミクロ経済学入門』岩波)

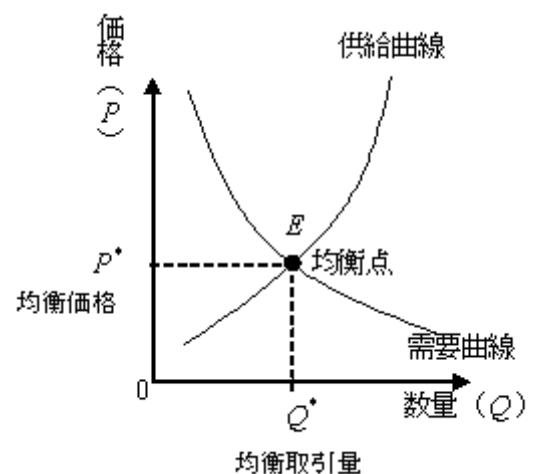
「経済とは人間が其の無限の欲望を最大限に満足し得る如く与えられたる有限の手段を配分する事である」(石橋湛山「経済の定義」『理想』1938年12月号『自由思想』104号に再掲)

三浦つとむ『弁証法はどういう科学か』講談社現代新書

### 【2】市場経済と市場

#### (1) 市場経済

#### (2) 市場の特徴



### 【3】市場経済の特異性

#### (1) 中世の経済

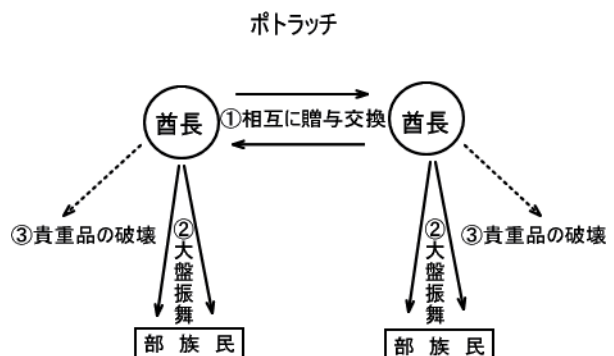
#### (2) ポラニーの提起

①「自己調節とは、すべての生産が市場での販売のために行なわれ、すべての所得がそのような販売から生まれることを意味している。したがって、すべての生産要素について、つまり財(常にサービスを含む)だけでなく労働、土地、貨幣についても市場が存在する。」(『大転換』 p.92)

#### (3) 非市場経済と市場経済

<インディアンの家族経済> (大塚久雄『共同体の基礎理論』)

	男性 (夫)	女性 (妻)
分業	戦闘、狩猟、漁獲、武器・道具・丸木舟・雪靴などの製作、long house・木柵・土壁などの建造、開墾・伐木	庭・外畑の耕作、胡桃・球根などの採取、陶器・筵・籠の製作、衣服の調製・煮焼などの家事
所有する動産	武器、道具、狩猟具、丸木舟、衣服	壺・籠などの台所用具、世帯道具、衣服、装飾品
相続先	兄弟姉妹および母方の叔父	娘および姉妹とその子たち



※関連文献

①三浦つとむ [1968] 『弁証法はどういう科学か』 講談社現代新書

・弁証法という「ものの見方」を見につければ、生活のあらゆる領域にとって役に立つ、というのが筆者の考え。経済については、労働、消費、自然と人間などの概念について弁証法の観点から、身近な事例を用いつつ分かりやすく説いている。

②ポラニー [1957] 『大転換』 東洋経済新報社

③ポラニー [1966] 『経済と文明』 ちくま学術文庫

・②はポラニーの主著。③は 18 世紀西アフリカで高度な文明を築いたダホメ王国に注目して、市場経済ではない経済システムの内容を具体的に紹介している。

④マリノフスキ [1922] 『西太平洋の遠洋航海者』

・クラ交易を発見した人類学者によるルポルタージュ

⑤モース [1924] 『贈与論』 ちくま学芸文庫

・クラ交易やポトラッチに注目して贈与とはなにかを論じるとともに、その現代的意味を考察する。本文は 150 頁程度と短い。

⑥桜井英治 [2011] 『贈与の歴史学』 中公新書

・日本史において贈与が最も盛んな時代は室町時代であった。その内実を描く。